（元請業者が作成及び発注者に説明する場合の様式例）

　　　年　　月　　日

**解体等工事に係る事前調査説明書面**

①発注者　住所

氏名（法人にあっては名称及びその代表者の氏名）　 様

住所

氏名

（法人にあっては、名称及びその代表者の氏名）

電話番号

②元請業者

大気汚染防止法第18条の15第１項に基づき、解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

|  |  |
| --- | --- |
| ③解体等工事の場所 | （解体等工事の名称） |
| ④解体又は改造・補修着手年月日 | 年　　月　　日 | 延床面積 |  m2 |
| ⑤解体等工事の種類 | 解体　　改造・補修 | 階数 | 階建 |
| ⑥建築物等の竣工・着工年 | 　　昭和・平成　　　　　年　竣工・着工 |
| ⑦建築物等の概要 | □建築物（　□耐火　□準耐火　□その他（　　　　　　　　　　　　　　））（　□木造　□ＲＣ造　□Ｓ造　□その他（　　　　　　　　　　））□その他工作物 |
| ⑧事前調査を行った者及び当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等 | 氏名 |
| 講習実施機関の名称（　□一般　□特定　□一戸建て等　□その他（　　　　　　　　　　）） |
| ⑨調査を終了した年月日 | 年月　　日 |
| ⑩調査の方法 | □書面　□目視　□分析　□その他（　　　　　　　　　　　　） |
| ⑪調査の結果 | ⑫特定建築材料の有無 | □石綿有又は石綿みなし有（詳細は別紙１のとおり）□石綿無 |
| ⑬破壊しないと調査できない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所 |  |
| ⑭事前調査の掲示 | 設置予定年月日 | 年　　月　　日 |
| 設置場所 | 別紙　のとおり |
| ⑮大気汚染防止法に係る作業の実施の届出の要否 | □要　　□不要 |

備考　１　特定建築材料が有り、特定粉じん排出等作業に該当する場合は別紙１を添付すること。

２　工事中に特定建築材料を見つけた場合、再度説明すること。

|  |
| --- |
| 元請業者からこの書面の説明を受けました。⑯発注者氏名（法人にあっては名称並びに説明を受けた者の職及び氏名）　**年　　月　　日** 　 　　 |
| 発注者へこの書面の説明を行いました。⑰元請業者氏名（法人にあっては名称並びに説明を行った者の職及び氏名）　**年　　月　　日** 　 　　 |

※　書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

別紙１

**特定粉じん排出（石綿除去）等作業の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| ①特定粉じん排出等作業の種類 | 大気汚染防止法施行規則別表第７１の項　建築物の解体作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業（次項及び５の項を除く）２の項　建築物の解体作業のうち、石綿含有断熱材等を除去する作業（かき落とし、切断、又は破砕以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（５の項を除く）３の項　建築物の解体等作業のうち、石綿含有仕上塗材を除去する作業（５の項を除く）４の項　建築物の解体等作業のうち、石綿含有成形板等を除去する作業（１から３の項、事項を除く）５の項　特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業６の項　建築物の改造・補修作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等に係る作業 |
| ②特定粉じん排出等作業の実施の期間 | 自　 年 月 日至　 年 月 日 |
| ③特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料等の種類並びにその使用箇所及び使用面積 | １　吹付け石綿 （　　　　　　　　、　　 　 m2）２　石綿を含有する保温材 （　　　　　　　　、　　 　 m2）３　石綿を含有する耐火被覆材 （　　　　　　　　、　 　　 m2）４ 石綿を含有する断熱材 （　　　　　　　　、　 　 　m2）５　石綿を含有する仕上塗材 （　　　　　　　　、　 　 　m2）６　石綿を含有する成形板等 （　　　　　　　　、　 　 　m2）詳細は別紙　のとおり |
| ④特定粉じん排出等作業の方法 | 除去　・囲い込み　・封じ込め　・　その他（　　　　　　　） |
| ⑤特定粉じん排出等作業の方法が法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由 |  |
| ⑥特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況 | 別紙　のとおり |
| ⑦特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要 | 別紙　のとおり |
| ⑧作業の掲示 | 設置予定年月日 | 年 月 日 |
| 設置場所 | 別紙　のとおり |
| ⑨特定工事の元請業者の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号　 |
| ⑩下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号　 |

※　書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

備考　 １　解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。

２　特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **建築物等の解体等の作業に関するお知らせ**本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告注1）、労働安全衛生法第88条第3項（労働安全衛生規則第90条第五号の二、第五号の三）の規定による計画の届出及び大気汚染防止法第18条の17第1項の規定による作業実施の届出を行っております。石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。

|  |
| --- |
| 　事業場の名称：○○○○解体工事作業所 |
| 届出先及び届出年月日 | 東京○○ | 労働基準監督署 | 令和○○年○○月○○日 | 発注者または自主施工者 |
| 東京 | 都・道・府・県 | ○○市・区 | 令和○○年○○月○○日 | 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名） |
| 調査終了年月日 | 令和○○年○○月○○日 | 　○○不動産（株）　代表取締役社長　○○　○○ |
| 看板表示日 | 令和○○年○○月○○日 | 住所 |
| 解体等工事期間 | 令和○○年○○月○○日 | ～ | 令和○○年○○月○○日 | 　東京都○○区○－○ |
| 石綿除去（特定粉じん排出）作業等の作業期間 | 令和○○年○○月○○日 | ～ | 令和○○年○○月○○日 |
| 調査方法の概要（調査箇所） | 元請業者（工事の施工者かつ調査者） |
| 【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査【調査箇所】建築物全体（１階～４階）※改修等の場合は、改修等を実施するために調査した箇所を記載する。（例）１階機械室（改修等工事対象場所） | 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名） |
| ○○建設株式会社　代表取締役社長　○○　○○ |
| 調査結果の概要（部分と石綿含有建材（特定建築材料）の種類、判断根拠） | 住所 |
| 【石綿含有あり】１階　機械室　吹付け石綿　クリソタイル１階　機械室　保温材（石綿含有とみなし）エレベーターシャフト　吹付け石綿　クリソタイル【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照１～４階　トイレ内ＰＳ　保温材③１～４階　床：ビニル床タイル③、天井：フレキシブルボード④　その他の建材④⑤ | 東京都○○区○－○ |
| 現場責任者氏名 | ○○　○○ |
| 連絡場所TEL | ０３-×××-×××× |
| ○○　○○　を石綿作業主任者に選任しています。 |
| 調査を行った者（分析等の実施者） |
| 氏名又は名称及び住所 |
| 石綿除去等作業（特定粉じん排出等作業）の方法 | 事前調査・試料採取を実施した者①特定建築物石綿含有建材調査者○○環境（株）氏名　○○　○○　　登録番号　○○○○住所：東京都○○区○○－○○分析を実施した者②○○環境分析センター　氏名　○○　○○　　登録番号　○○○○住所：埼玉県○○市○○－○○ |
| 石綿含有建材（特定建築材料）の処理方法 | 除去　・　囲い込み　・　封じ込め　・　その他 |
| 集じん・排気装置 | 機種・型式・設置数 | ・機種：集じん・排気装置　・型式：○○○-2000　・設置数：○台 |
| 排気能力（㎡/ｍｉｎ） | ○○m3/ｍｉｎ（１時間あたりの換気回数４回以上） |
| 使用するフィルタの種類及びその集じん効果（％） | HEPAフィルタ　・補修効率：99.97％　・粒子径：0.3μｍ |
| 使用する資材及びその種類 | ・湿潤用薬液：○○○○　・固化用薬液：○○○○・隔離用シート（厚さ：床○mm、その他○mm）　・接着テープ　等 | その他事項 |
| 調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された〇数字は、以下の判断根拠を表す①目視　②設計図書　③分析　④材料製造者による証明⑤材料の製造年月日 |
| その他の石綿（特定粉じん）の排出又は飛散の抑制方法 | （例）・吹付け層に薬液を含浸する等により表層面を被覆する封じ込め工法注2） |
| （例）・板状材料で完全に覆うことにより密閉する囲い込み工法注2） |
| 備考：その他の条例等の届出年月日 |
| 　○○区建築物の解体工事等に関する要綱（令和○○年○月○日届出） |

 |

注１）工事に係る部分の床面積の合計が80m2以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

注2）封じ込め工法や囲い込み工法を行う場合の記載例

図4.6.1　石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去等を含む作業（届出対象）記入例　※掲示サイズは（横420mm以上、縦297mm以上）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **建築物等の解体等の作業に関するお知らせ**本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。注）石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。

|  |
| --- |
| 　事業場の名称：○○○○解体工事作業所 |
| 調査終了年月日 | 令和○○年○○月○○日 | 発注者または自主施工者 |
| 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名） |
| 看板表示日 | 令和○○年○○月○○日 | 　○○○○開発（株）　代表取締役社長　○○　○○ |
|  |  | 住所 |
| 解体等工事期間 | 令和○○年○○月○○日 | ～ | 令和○○年○○月○○日 | 　東京都○○区○－○ |
| 石綿除去（特定粉じん排出）作業等の作業期間 | 令和○○年○○月○○日 | ～ | 令和○○年○○月○○日 |
| 調査方法の概要（調査箇所） | 元請業者（工事の施工者かつ調査者） |
| 【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査【調査箇所】建築物全体（１階～３階） | 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名） |
| ○○建設株式会社　代表取締役社長　○○　○○ |
| 調査結果の概要（部分と石綿含有建材（特定建築材料）の種類、判断根拠） | 住所 |
| 【石綿含有あり】外壁　石綿含有仕上塗材　クリソタイル１階　軒天　石綿含有けい酸カルシウム板第１種　クリソタイル２階　事務室・会議室Ａ　床　ビニル床タイル　クリソタイル２階　給湯室　天井　フレキシブルボード　クリソタイル【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照１階　倉庫　吹付けロックウール　③１～３階　床：ビニル床シート⑤、壁：けい酸カルシウム板第１種：④　天井：岩綿吸音板③　その他の建材④⑤ | 東京都○○区○－○ |
| 現場責任者氏名 | ○○　○○ |
| 連絡場所TEL | ０３-×××-×××× |
| ○○　○○　を石綿作業主任者に選任しています。 |
| 調査を行った者（分析等の実施者） |
| 氏名又は名称及び住所 |
| 事前調査・試料採取を実施した者①一般建築物石綿含有建材調査者○○環境（株）氏名　○○　○○　　登録番号　○○○○住所：東京都○○区○○－○○分析を実施した者②○○環境分析センター　　氏名　○○　○○　　登録番号　○○○○住所：埼玉県○○市○○－○○ |
| 石綿除去等作業（特定粉じん排出等作業）の方法 |
| 石綿含有建材（特定建築材料）の処理方法 | 除去　・　その他 |
| 特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法 | 石綿含有成形板等（例）フレキシブルボードは原形のまま取り外す。ビニル床タイルは湿潤化しながらバール等で除去を行う。石綿含有けい酸カルシウム板第１種は作業場を養生シートで養生（隔離）し、湿潤化しながらバール等で除去を行う。 |
| 石綿含有仕上塗材（例）剥離剤併用手工具ケレン工法。外周を養生シートで養生（隔離）し、除去を行う。 |
| 使用する資材及びその種類 | ・湿潤用薬液：○○○○　・剥離剤：○○○○・養生用シート（厚さ：○mm）　・接着テープ　等 | その他事項 |
| 調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す①目視　②設計図書　③分析　④材料製造者による証明⑤材料の製造年月日 |
| 備考：その他の条例等の届出年月日 |
| 　○○区建築物の解体工事等に関する要綱（令和○○年○月○日届出） |

 |

注）工事に係る部分の床面積の合計が80m2以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

図4.6.2　石綿含有成形板等、石綿含有仕上塗材の除去等作業（届出非対象）記入例　※掲示サイズは（横420mm以上、縦297mm以上）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **建築物等の解体等の作業に関するお知らせ**本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。注）大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則及び条例等に基づく調査結果をお知らせします。

|  |
| --- |
| 　事業場の名称：○○○○解体工事作業所 |
| 調査終了年月日 | 令和○○年　○月　○日 | 元請業者（解体等工事の施工者かつ調査者） |
| 看板表示日 | 令和○○年　○月　○日 | 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名） |
| 解体等工事期間 ：  | 令和○○年　○月　○日 | ～ | 令和○○年　○月　○日 | ○○建設株式会社　代表取締役社長　○○○○ |
| 調査方法の概要（調査箇所） |
| 【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査※建物の着工日で石綿含有なしを判断した場合は、書面調査のみとなる【調査箇所】建築物全体（１階～３階） | 住所 |
| 東京都○○区○－○ |
| 現場責任者氏名 | ○○○○ |
| 連絡場所TEL | 03－×××－×××× |
|  |
| 調査結果の概要（部分と石綿含有建材（特定建築材料）の種類、判断根拠） |
| 石綿は使用されていませんでした。（特定工事に該当しません）【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照１～３階　床：ビニル床タイル③　ビニル床シート③、天井：岩綿吸音板③、けい酸カルシウム板第１種③、壁：スレートボード⑤外壁　仕上塗材③※建築物の着工日で石綿含有なしを判断した場合の例建築物の着工日が2006年9月1日以降⑤ | 調査を行った者（分析等の実施者） |
| 氏名又は名称及び住所 |
| 事前調査・試料採取を実施した者①日本アスベスト調査診断協会登録者氏名　○○　○○　　会員番号　○○○○住所：東京都○○区○○－○○分析を実施した者②○○環境分析センター　代表取締役社長　○○　○○　氏名　○○　○○　　登録番号　○○○○住所：埼玉県○○市○○－○○ |
| その他事項 |
| 調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す①目視　②設計図書　③分析　④材料製造者による証明⑤材料の製造年月日 |

 |

注）工事に係る部分の床面積の合計が80m2以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

図4.6.3　石綿使用なし記入例　※掲示サイズは（横420mm以上、縦297mm以上）